

こんにちは議会です

議会だより



はいぬしま

No. 52

たけとみちよう

2025

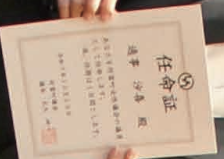
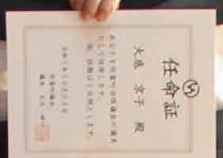


CHECK!!

- 令和7年 女性議会 ..... 2~3
- 令和7年 9月定例会 ..... 4~5
- 9月定例会 一般質問 ..... 6~15
- 政務活動費 関連 ..... 16

# 未来をつくる私たちの一歩

女性議会 開催!!



竹富町議会ホームページ  
<http://www.town.taketomi.okinawa.jp/gikai/index/>



# 令和7年 女性議会を 開催！

## 女性議会

### 玉元志帆 議員

1. 支援が必要な人に迅速かつ適当な支援は届いているのか
2. 団塊の世代の高齢化に対応できるのか

### 内盛朝佳 議員

1. 島外からフリーライドする観光事業者の規制について
2. 石垣島における町民サービスについて

民生委員からの報告が支援につながりにくい現状がある。石垣からの支援だけでは限界があり、島内に相談窓口を設けるべき。現場スタッフの声を反映した認定調査の必要性、住み慣れた地域で最期を迎えられる仕組みづくり、現場の努力が報われる支援体制を。

### 小松英子 議員

1. 子どもの心と身体の健康にとって、一番の礎となる命の始まりの時に最高の状態にし安心して産める環境作り
2. 世界一子育てに良い町に本気で取り組んで頂きたい

離島でも学びの機会が得られるよう、オンライン塾や学習支援の導入を求める。子どもたちの心身の成長に欠かせない遊び場の復活、遊具の設置を強く求める。要配慮者の避難支援、情報伝達、訓練の充実を求める。現場の声を行政が直接聞き、共に動いてほしい。

### 大底京子 議員

1. 子育て教育関係に関して
2. 災害関連に関して

地域に貢献しない“フリーライド事業者”への対策が必要。U・Iターン希望者が安心して住める住宅支援の強化。町民スペースや物流を活用した地産地消の仕組みを。公共交通の利便性向上で町民の移動をもっと快適にしてほしい。島の文化と暮らしを守るのは、島に住み、支える人々の力が必要。

妊婦が家族と離れて出産する不安を減らす支援の充実を。産前産後の孤立を防ぎ、相談しやすい関係づくりの構築を。遊具や身体活動が歯や発達にも影響する。伝統文化の継承と心の育ちを促す仕組み、自然と人の温かさが融合した理想の暮らしの場に。

## 現職女性議員

## インタビュー!!

### 01 立候補のきっかけ

島の議員選出で男性陣がましまらず、島からの立候補は断念する方向の中、男性がダメなら女性議員を選出するということ、女性の先輩や友人から立候補するよう応援があり、私も竹富町行政への興味と好奇心があり立候補しました。



宮良道子 議員

### 02 ご家族の反応

お母さんがやるなら応援すると全面協力でした。

### 03 議員になる前とってから

あまり勉強は好きではなかったので机に座ることも無かったのですが、長い時間机に向かっているようにになりました。気になることをメモし、記憶確認で写真も撮る様になりました。

### 04 今活動していること

島の可能性から新しい産業が出来ないか、新しい雇用場が出来ないか、それには住むところが必要など、現在模索中です。

### 05 政治を目指す女性・若者へのメッセージ

議員は面白いです！生活において公人として自分を制することは少し必要で、自分自身頑張っています。他は、公人故の立場で色々な出会いや県外研修、広域事務組合では国外行政視察等、普段の生活では体験できないことができ、知りたいこと聞きたいこと等、議員故に対応して頂き教えて頂けるのでありがたい立場です。議員になつて議会の議案審議等から竹富町の中が知れ、それ故審議の責任は有りますが、議員になったからこそ学べるもので面白いと思います。町長も議員も当選する前は普通の人です。ですから、普通の皆さんこそ議員になりましょう!! 議員同士、切磋琢磨し竹富町を築く竹富町議会に皆さんも是非!!

# 「私たちの暮らしを、私たちの言葉で。」

10月23日、竹富町議事堂にて「女性議会」を開催。町内各地域から8名の女性が議員役として登壇し、子育て・介護・働く環境など、日々の暮らしに根ざした課題を行政に問いかけました。模擬議会とはいえ、発言には真剣な思いが込められ、町長や各課長も真摯に答弁。町民がまちづくりの主役となる機会として、大きな一歩となりました。

## 女性議会

**高齢化**  
社会への対応は、制度だけでなく「人のつながり」が鍵。外国人労働者も町の一員として安心して暮らせる環境づくりが必要。竹富町の「不便さ」こそが、人を育てる宝であり、観光にも活かせる町民・移住者・観光客が共に支え合う「ゆいまーる」の精神を未来へ。

### 池間 千恵 議員

1. 竹富町内の高齢社会、少子化対策について
2. 竹富町の未来の方向性を確認し示していくには

**黒島の静けさや素朴さ**こそが価値であり、それを芸術祭で表現したい。町主導でアーティストや住民が交流できる機会を。港などに誰でも出品できる販売所を設け、島の産業を応援したい。斜里町の熱量に感動し、竹富町でも展示や紹介を希望。

### 金城 珠実 議員

1. 竹富町芸術祭について
2. 特産品の販路について

### 山城 まゆみ 議員

1. 河川、海の水質保全について
2. 男女共同参画について

**生活排水・牛糞・赤土**流出など、陸域からの海への影響を重視すべき。合併浄化槽の普及や補助制度の拡充が急務。農地や林道の赤土対策は“任意”ではなく、町ぐるみで推進すべき環境保全は町の誇りであり、世界に発信できる価値。男女共同参画も“検討”ではなく“実行”を求める。

### 通事 沙喜 議員

1. 害鳥駆除について
2. 子どもの遊び場について

**クジャク・カラス**による農業・畜産被害が深刻で、駆除の実効性と安全性の両立を求める。島内人材の活用による効率的な駆除体制の構築として経費削減と迅速対応を。公園整備、遊具を設置しタブレットに偏る生活から、外遊びの機会を取り戻したい。住民の声を反映した島づくりを望む。公民館や地域の要望を見える形に。

## 01 立候補のきっかけ

私が立候補したきっかけは、公明党から声をかけていただいたことです。当時、竹富町には女性議員が一人もおらず、私に務まるのだからととても不安でした。それでも、子育ての課題を少しでも良くしたい、女性の声を町に届けたいという思いから、思い切って挑戦しました。

## 02 ご家族の反応

最初は家族も子供たちも驚きました。議員の仕事がどんなものか想像できず、役場が石垣にあるため議会の時はどうなるのか、学校生活に影響はないかと私も心配でした。それでも子供たちが、やりたければやってみたらと言ってくれてその一言に勇気をもらいました。

## 03 議員になる前とってから

もともと人前で話すのは得意ではありませんでした。でも明るく何とかなるさと思いつつやってみて気づけば少しずつ慣れてきました。議員になって感じるのは、本当にいろんな考え方や意見があるということです。毎日が新しい発見と勉強の連続です。

## 04 今活動していること

私が今も大切に続けている活動の一つに、朝の登校時の見守りがあります。毎朝7時半から8時ごろまで、月曜から金曜まで続けていても12年になります。通学中の事故のニュースをきくたびに子供たちが安心して登校できるようにと始めました。子供たちの元気なあいさつに励まされながら、今は交通安全協会西表島西部支部長として地域ぐるみで安全を守る活動をしています。

## 05 政治を目指す女性・若者へのメッセージ

政治は特別な人のものではなく、私たちの暮らしそのものです。子供を育てることも、働くことも、地域を守ることも、ちょっとした困りごとすべて政治とつながっています。不安があっても大丈夫。私も最初は不安でしたが、一歩を踏み出すことで新しい出会いや学びがありました。行動すること道は開けます。難しく考えず、「ちよつと気になる」から始めてみてください。あなたの声が町の未来を変える第一歩になります。



三盛 克美 議員

# 9月 定例会

令和7年第3回9月定例会は、9月8日から9月19日までの12日間の会期で開かれました。前泊町長から報告4件、承認1件、認定6件、議案14件、が提出され審議されました。慎重審議の結果、全議案について可決されました。

## 令和7年度 一般会計補正予算（第2号） 主な事業



9月定例会

### EV車充電施設設置委託 120万円

石垣で利用できるシェアカー4台分の駐車場を、役場から離島ターミナル2階へ移設します。



### 公共ライドシェア事業 54万円

黒島にて公共ライドシェアの実証運行を実施。地域事業者に委託し運行を想定している。乗員は10名以下。料金設定や近傍の料金を踏まえ、運行体制は地域公共交通会議を立ち上げて決定していく。



### 備蓄庫整備事業 3,456万円

上原・中野・浦内・白浜の4地区に住民向け備蓄倉庫を整備。設置場所は高台を優先。飲料水、非常食、毛布、簡易トイレ、発電機等を収納予定で、各地区人口に応じた数量を予定。パーティーションやテントも検討される。



### 鳩間小中学校門扉・フェンス設置工事 1,316万円

学校周辺フェンスの設置とスライド式門扉を設置。予算は、人件費・運搬費・物価高騰が影響。台風・塩害に耐える仕様。門扉は鉄製を予定。錆対策として定期メンテナンスを実施していく必要がある。ステンレス等の代替材も検討余地あり。



### スクールバス購入事業費 474万円

上原小学校用に10人乗り車両を購入予定。地域循環バスへ展開していくことは未定、補助事業を活用するものであるため、使途目的に沿った運用が条件となる。



### 共同仕入れ商品陸上輸送事業 135万円

西表島を対象に共同仕入れ商品を港から各小売店へ陸上輸送する際の輸送費を軽減する事業。まずは西表島を対象に体制構築を図り島々へ展開させたい。





## 令和7年度 一般会計補正予算（第2号） 主な事業



### 鳩間⇄上原間航路運航補助 330万円

ダイビング業者2社の協力を得て、鳩間～上原間の航路を11月～翌年2月に実証実験運航を行う。結果を踏まえて持続可能な運航体制の構築につなげたい。



### 教員宿舎耐力度簡略調査 110万円

鳩間教員宿舎の耐力度調査を行う。補助金申請のため、県への調査結果の報告義務があり調査は必須。写真等による簡易調査を実施。建て替え時期は現在未定



### シャトルバス運行業務 100万円

現在の職員による運航を委託化。波照間空港～集落以外にも、集落～港へも送迎を実施する。



### 施設備品設置委託 350万円

大富公民館、美原公民館へクーラーを設置費。



## 令和6年度竹富町一般会計及び 特別会計歳入歳出決算の認定について



### 総務財政委員会からのご報告

令和6年度決算認定について、総務財政委員会では関係課長の出席のもと、一般会計および3つの特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）について審査を行いました。委員からは、町税収入の変動やふるさと納税の活用状況、各事業の執行状況などについて活発な質疑があり、町民の暮らしに寄与する施策の推進を求める意見が出されました。特に、修学旅行費補助や芸能発表会の制度運用の見直し、介護人材の確保、健康づくりのデジタル活用、産前・産後ケアの充実など、今後の制度改善に向けた前向きな提案がなされました。すべての認定議案は、全委員一致で認定すべきものと決定されました。



### 経済委員会からのご報告

令和6年度の水道・下水道事業決算を審査しました。経済委員会では、令和6年度の簡易水道事業および下水道事業の特別会計決算について、上下水道課長の出席のもと審査を行いました。両事業ともに今年度から公営企業会計へ移行し、初めての決算審査となりました。審査では、未収金への対応や施設更新の計画、料金体制の見直し、経営状況の分析などについて活発な質疑が交わされました。波照間島での施設更新計画や、上原地区の漏水対策、将来的な水道料金の見直しの必要性についても議論されました。下水道事業では、接続率の向上や処理汚泥の堆肥化による農家支援、企業会計への移行に伴う管理体制の整備などが話題となり、住民生活と自然環境の両面からの改善が求められました。両議案ともに、全委員一致で認定すべきものと決定されました。

令和6年度  
竹富町  
一般会計及び特別会計  
歳入歳出決算に関する資料

竹富町  
決算



コチラから↑



一般質問

津波避難体制の強化

**問** 7月30日の津波注意報発令時、町内に残る観光客数を役場は把握していたのか。

防災危機管理課長

約785名の帰宅困難者がいたと推定されるが、正確な把握はできていなかった。船会社との連絡もつながらず、職員の個人的な連絡網に頼らざるを得なかった。

**問** 観光危機管理マニュアルには緊急連絡網が示されているが、今回、公民館や自主防災組織との情報共有はあったのか。

防災危機管理課長

館長らと連携をとっていたが、現場対応が優先され、十分な情報共有ができなかった。今後地域と協議しながらマニュアルを充実させていく。

**問** 津波注意報中に観光事業者が観光客を港へ送迎していたと聞く。事業者への指導や勉強会の開催が必要ではないか。

自然観光課長

事業者への周知や勉強会は不足している。今後、ヒアリングや訓練を通して理解を深め、マニュアルの実効性を高める。

**問** 津波到達時間の後、臨時便の運航はどのように把握し、周知したのか。

防災危機管理課長

町には正式な連絡はなく、職員

個人的な連絡で午後3時半ごろに把握した。その後、防災無線等で周知した。今後は船会社との連絡網を再整備する。

**問** 避難所開設や備蓄品使用の判断は誰が行うのか。

防災危機管理課長

明確なルールはなく、現在策定作業を進めている。防災マップや段ボールベッドも導入できるよう補助金を模索している。

教育委員会総務課長

夜間・休日に学校を開放する体制は未整備。今後、防災課や地域と協議していく。

**要望** マニュアルの作成で終わらず、訓練を通じて課題を改善することが必要。備蓄や避難所開設のルールを早急に整備してほしい。

竹富町国民保護計画の整備

**問** 国民保護計画に基づく避難時、町職員の役割や搬送ルートが町民に周知されていないのではないか。

防災危機管理課長

令和5年度から避難実施計画を協議中で、搬送者数を踏まえた搬送計画を検討している。しかし職員や町民への説明は未実施である。

**要望** 観光客や高齢者も含めた実動訓練を行い、町民への説明会を町主導で実施すべき。

竹富町準景観地区条例の運用

**問** 竹富島温泉宿泊施設について住民の理解を得られているか、町は確認したのか。

まちづくり課長

事業者が5回の説明会を行ったと報告を受けているが、参加人数は確認していない。

**問** 認定前に受水槽やキュービクルが設置されているが、その対応は。

まちづくり課長

違反工作物として撤去を指導し、修正図面では外部から見えないよう配慮されている。

**問** 町長はこの計画をどのように考えるか。

町長

賛否両論あることを認識。事業者は地域と十分に意見交換すべきであり、町は公平な立場で景観審議会の意見を踏まえ、条例基準に沿って判断していく。

**要望** 住民の理解を得ないまま認定を進めることは条例の趣旨に反する。町民の信頼を損なわぬよう慎重な運用を求める。

財政健全化

**問** 不用額の要因と対応は。

財政課長

補助事業の実績乖離や入札差額、人件費精査が主因。進捗管理を強化し減額補正を徹底する。

**問** 町債残高106億円、利子年4500万円の現状、今後の発行と償還方針は。

財政課長

施設整備で発行増は避けられないが、交付税措置率の高い起債を選び、基金による繰上償還も検討する。

**要望** 不用額は町民サービスに回すべき。基金は「貯める」から「活かす」へ転換し、財政健全化を進めてほしい。

不法投棄ごみ処理と再発防止策を

**問** 竹富公民館が竹富東港の清掃を行った。不法投棄ごみの処理と再発防止策は。

まちづくり課長

県土木事務所と協議し処理を検討中。防犯カメラ設置も協議しており、不法投棄は犯罪であると周知を徹底する。

**要望** 業者による投棄の実態把握を含め、実効性ある再発防止策を講じるべき。



か や も と し ん い ち  
**加屋本 真一 議員**  
◀詳しくは動画を Check!!

**スバウ! 町政を問う!!**  
**9月定例会**

## 一般質問

### 空港送迎バスについて

**問** 送迎バスの運行状況は。

**政策推進課長**

順調に大きなトラブルもなく運行している。運行回数は29回で述べ76人利用。

**問** 港から集落までのバスは。

**政策推進課長**

現在計画を立てている状況。

### 漁港ターミナルについて

**問** 波照間港の女子トイレを洋式に変えたため人が座ると壁との距離が狭く困っている。改善できないか。

**まちづくり課長**

狭さは把握している。どうにか改修工事ができないか検討していく。

**問** 小浜港の東屋とトイレを解体した後の取り組みは。

**まちづくり課長**

駐車場に活用できないか検討要望している。

### サーチャージについて

**問** 現段階のサーチャージ、運賃が上がった理由。

**政策推進課長**

3段階のサーチャージが適用されている。県によるサーチャージ

ジの支援があったが予算がなくなったため。

**問** 沖縄本島周辺の離島は単独航路なのでサーチャージがないとのことだが、波照間も単独航路だけに適用されているのはなぜか。

**政策推進課長**

国、県と調整しておりすぐには結論が出せないが、制度仕組みを研究し、地域住民の負担減に努めていく。

**要望** サーチャージが1日で倍近くの料金になると町民にとっては大きな負担となっているため、国、県との調整を続けていただくことを強く要望する。

### 小浜ゴミ焼却施設について

**問** 6月から1日しか稼働していないゴミ処理実証実験の機器と不具合の要因と経過について。

**まちづくり課長**

機器の排出口が水分の反応でセメント化し使用できない状況。

**問** 今後の対応は。

**まちづくり課長**

10月上旬までに改良した最新機器と入れ替える予定。

**問** 現行の機器では同じことの繰り返しで、実証実験は前に進まないと思うが、今後の見解は。

**町長**

連続稼働ができていないので最

新機器を設置して年内には判断を下したい。万が一同じような状況であれば別の機器の導入も視野に入れていく。生活の利便性を向上していくためにも実証実験をしていく。

### 多機能型貨物船について

**問** 進捗と船員の確保状況、荷下ろしするバス確保について伺う。

**政策推進課長**

10月上旬に石垣に引き渡しされる予定で、7日にお披露目式を予定している。運行スタッフはJA丸からの船員を4名確保している。さらに船長と機関士の免許を持った2名を採用する予定。バスの確保は安楽・観光フェリーが使っている場所を想定しており、石垣市と調整している。

**問** 観光フェリーの船が上原に行けないときの対応は。

**政策推進課長**

物流を停滞させないよう不定期で運行予定。

### 観光施設整備について

**問** ニシ浜ビーチのシャワールームの屋根が壊れて落ちてきているが今後の対応は。

**自然観光課長**

改善の方法も含めて、速やかに修繕に向けて対応していく。

**要望** シャワールーム、トイレは観光施設で誰でも使うことのできる施設であるので、安心安全に使用できるよう早めの取り組みをお願いしたい。

### 波照間保育所について

**問** 門前の水溜り場所の状況は。

**まちづくり課長**

職員で工事し完了済み。

**問** 門扉の錆食っている箇所の修繕は。

**こども未来課長**

応急処置の対応と併せて、取り替え修繕補修の対応を調整し早めに対応する。

**問** 砂場の屋根設置ができないか。

**こども未来課長**

現在設置している砂場の基礎が屋根を設置した際に台風時に耐えられる構造ではないため屋根を設置する場合には基礎工事を行う必要がある。どのような形がいいのか現場の職員と調整しながら対応していきたい。

他にも、このような質問もありました。

- 船員誘致事業
- 波照間星空観測タワー
- 底名溜池展望台までの道路整備
- 町長ゆんたく会



一般質問

町民生活を支える  
貨物船

**問** 新造船「Fかりゆし」は客席を撤去した改造船で、積載量は従来の5割。大型車両や資材が運べず、西部地区住民は大原港まで約40kmかけて引き取りに行くようになるのではと懸念している。購入前に町への相談はあったのか。

**政策推進課長** 購入後に初めて知らされた。事前相談はなかった。

**問** 町民の生活に直結する問題。町としてどう対応するのか。

**政策推進課長** 航路調整会議で船会社に社会的役割を自覚するよう求めている。

**問** 町民無視の判断と言わざるを得ない。定期航路として島々の貨物輸送は責務ではないのか。

**政策推進課長**

これまでも航路調整会議で船会社に対し、社会的役割を自覚してほしいと求めてきた。町民の移動、物流を考慮するよう要請している。

**問** 始発便を30分早めれば、高校生や通勤者、病院に通う人の負担が軽減される。調整はできないのか。

**政策推進課長**

船会社は人員不足を理由に困難としている。ただし住民要望は引き続き伝える。

**問** 町は株主でもある。経営が赤字なら町民の声を反映すべきでは。

**政策推進課長**

株主総会で経営状況を確認し、町民の意見を伝えている。

**要望** 町民の利便性を最優先に、便数や時間の調整を強く働きかけてほしい。将来的には町営船会社の可能性も検討すべきである。

仲間港の整備と  
安全対策

**問** 駐車場拡張で路上駐車は減った。残りの樹木伐採は年度内に進められるか。

**まちづくり課長**

県港湾課と現地確認を行い、伐採を進める方針を確認している。

**問** ターミナル外側の木製デッキは老朽化し危険。応急対応はできないか。

**まちづくり課長**

現在は立入禁止措置。予算を確保し改修予定。

**問** 女子トイレ付近の通路も床板が抜けかけている。早急な補修は。

**まちづくり課長**

現場を確認済み。地元業者と連携し仮補修を検討する。

**問** 浮桟橋は満潮時に長靴がないと渡れない。乗客の安全はどう守るのか。

**まちづくり課長**

満潮時のスロープの段差についての設計は今後の予算で優先的に整備すると県の回答。

**問** 観光客が増える中、安全面への投資を後回しにするのか。

**まちづくり課長**

利用者の安全を最優先とし、県と連携して改善を進める。

**要望** 危険箇所は応急でも対応し、観光客や子どもの事故防止を最優先に進めてほしい。

ヤマネコ公園隣接の  
町有地管理

**問** 公園と製糖工場の寮の間の町有地の草木が茂り、ハブが出て危険。対策は。

**総務課長**

現場を確認しており、必要に応じて追加対応を行う。

**問** 大型バス駐車場が不足している。隣接地を臨時駐車場にできないか。

**総務課長**

面積は約1ヘクタール。将来的には調理場や団地建替えに活用予定で、駐車場利用は考えていない。

**要望** 現状の安全対策を徹底し、定期的な草刈りを実施してほしい。

旧古見小学校  
跡地の活用

**問** 跡地活用の進捗は。

**教育委員会総務課長**

検討委員会を2回開催し、地域住民とも意見交換を行った。

**問** 公募の結果は。

**教育委員会総務課長**

6〜9月に募集し、学習塾と複合型コミュニティ施設の2件の応募があった。

**問** 今後のスケジュールは。

**教育委員会総務課長**

10〜11月に第3回委員会で開催、来年1〜2月に第4回委員会を開き、町長へ提言予定。

**問** 財政面の見通しはどうか。

**教育委員会総務課長**

費用対効果も踏まえ、町全体のバランスを考えた検討する。

**要望** 地域にとって重要な跡地活用。住民の声を反映し、財政面も考慮して早期に結論を出してほしい。



さき えだ ゆう じ  
**崎 枝 裕 次 議員**  
◀詳しくは動画を Check!!

**町政を問う!!**  
**9月定例会**

一般質問

**消防団・通信・搬送の課題について問う**

**問** 今年度は非常に救助案件が多い。消防団の対応力が問われる場面が増えていくが、災害救助の実態と課題について町はどのような把握しているか。

**防災危機管理課長**

沖縄県通信司令センターからの119連絡や消防団LINE等により出動状況を把握している。今年度は山岳救助1件、水難事故3件が発生し、3名が亡くなっている。課題としては、啓発活動の強化と消防団への情報共有体制の構築、通信手段の整備が必要と認識している。

**問** 鳩間島での救助案件では、連絡の遅れや搬送の混乱が見られた。鳩間〜上原航路は災害時の命綱とも言えるルートである。今後の定期化について、町の考えを伺いたい。

**政策推進課長**

これまでも議会で指摘を受け、今回の補正では実証実験として臨時運航の準備を進めている。利用方法や課題を検証し、防災の観点からも可能性を探っていきたいと考えている。

**問** 消防団員から、救急救命士資格や中型免許などを自費で取得して活動に活かしたいという声がある。町として、資格取得支援の制度化や教育訓練給付制度の活用について検討する余地はあるか。

**防災危機管理課長**

人材育成の観点から、資格取得にかかる費用負担については今後検討していきたいと考えている。特に救急救命士資格は沖縄本島での取得が必要で、現状では負担が大きいため、支援のあり方を整理したい。

**問** 西部地区での停電により家電が故障したとの住民の声がある。町としての認識と対応を伺いたい。

**町長**

今回の停電は非常にひどい状況だったと認識している。家電に過剰な電力が流れた可能性もあり、性能の良い機器が故障した事例も確認している。町民が個人で問い合わせても対応されない状況はあり得ないと考えており、原因調査と補償のあり方について、必要であれば私自身が直接対応する覚悟。



**防災公園について**

えている。町として、今後の施設整備の展望があるか伺う。

**防災危機管理課長**

現時点では、防災公園の整備計画はないが、公園整備にあたって防災機能の導入は必要だと感じている。防災公園の規模や用地確保など、一定の調整・検討が必要になるかと思うので、今後その点も含めて検討していきたい。



**ふるさと納税の運営体制について問う**

**問** 制度変更により寄付者・事業者・自治体それぞれに大きな影響が及ぶことが予想される。来月から始まるポイント制度廃止に伴い、駆け込み寄付が急増している報道もあるが、本庁において現時点で寄付額や返礼品申し込みの変化は見られるか。

**政策推進課長**

前年度比に対して増加傾向にある。過去にも制度改正の際、9月頃に駆け込み寄付があり、その後11月・12月に若干下がる傾向があった。引き続き注視し、必要な対応策を取っていききたいと考えている。

**問** 寄付額の変更により、事業者がその内容を知らされていないケースがある。町としての周知と対応はどうなっているか。

**政策推進課長**

担当者を通して中間事業者等も含めて説明をしているかと思う。返礼品の内容については、kg数を減らすなどの調整をしている事例もあり、引き続き周知を図り、すべての方に情報が行き渡るよう努める。

**問** 制度変更により寄付額が上がったことで、寄付者が選びにくくなっている。1万円で寄付するような返礼品の額に抑えるべきだと考えるが、町としての対応はどうか。

**政策推進課長**

寄付額と返礼品のバランスについては、事業者と連携しながら調整を進めている。寄付者が分かりやすく選べるよう、今後も改善に努める。





みやらみちこ  
**宮良 道子 議員**  
◀詳しくは動画を Check!!

**スバウィ! 町政を問う!!**  
**9月定例会**

## 一般質問

### 7月30日津波注意報 発令について

**問** 地震は遙か日本の北に発生し、最南端の石垣・竹富町に津波到達まで時間はある。定期船の運休決定のタイミングは余りにも決定は早くないか。

**政策推進課長**

港則法に基づく海保と事業者の協議で決定され安全第一で運行中止を取ったと思う。

**問** 石垣にいる竹富町民は石垣市の防災体制の基での避難行動か。

**防災危機管理課長**

石垣にいる町民は石垣市の避難行動に基づく避難になる。

**問** 船の欠航やターミナル閉鎖で、沢山の人達がターミナル付近にいたが、この人達への石垣市からの指示はあったか。

**防災危機管理課長**

石垣港において石垣市の職員が対応に当たったかは確認取れていない。ただ防災無線で海岸から離れるよう放送は流れていた。

**問** ターミナルにおいて竹富町民に対し町役場からの避難指示や誘導等があったか。

**防災危機管理課長**

津波注意報が発令された時点で公式LINE等により、避難指示

等は行ったが現場での避難誘導は無かった。

**問** 新聞では宿泊施設に問い合わせが殺到したとあるが、石垣滞在中の町民から役場への相談はあったか。

**総務課長**

船が出ないと分かった後での宿泊の相談はあり、役場に来てもらい対応。

**問** 地震津波警報では町職員は石垣市の防災計画に沿って避難するのか。

**防災危機管理課長**

竹富町の本庁勤務の職員は石垣市の避難行動に基づいて避難する。防災訓練等も実施している。

### 黒島の空家対策!

**問** 旧マリンドレッシェコテージは、築40年余りだが良い状態。空家対策推進の特別措置法では1年以上放置建物は一応違法とあるが、所有している企業と交渉してリフォームし貸す事ができないか。

**政策推進課長**

港以前現地を調査した。草が生茂っているが伐採しリフォームすれば住めそうな感じと伺っている。所有者が石垣市内の事業者で隣接する黒島研究所の整備と合わせてできないか等、状況

を見ながら貸せるか否かを調整し黒島研究所とまた別で調整をしている。それも進めながら環境整備について調整していきたい。

**要望** 町営住宅には単身者は入れない。単心者が入ることが一番大事で移住定住から島の発展にも繋がる。是非とも必要な施設、企業と協議され早急に空家対策事業をやって頂きたい。

### 群星寮及び県立高校 宿舎について

**問** 群星寮は希望しても入れないという事があったが町内高校生にもあるか。

**教育委員会総務課長**

群星寮入寮募集は昨年8月に行い町内から8名の希望者があり11月の抽選では2名辞退6名が抽選を行い3名が内定。4月入寮時1名が辞退し2名の入寮となった。

**問** 入寮希望者は今後も増えると思うが増築という情報は無いのか。

**教育委員会総務課長**

群星寮の管理は県が行っている。現在のところ増築等の話は把握していない。

**要望** 最終的に2名だが、群星寮は入寮の際に身元引受人は必要ないという点や、安心安全で学

べる環境と思う。今後希望した人が皆入れる取組みとして県に増築を要望して頂きたい。

**問** 県立高校の寮は身元引受人が必要とあるが。

**教育委員会総務課長**

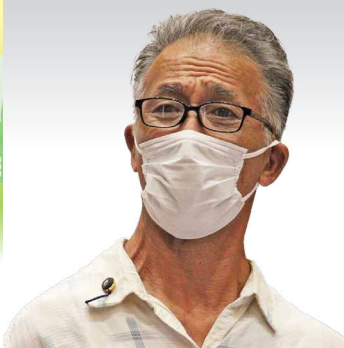
県立高校寄宿舎へ入寮する場合は身元引受人・保証人を立てないとい入寮できない。

**問** 他県では、県外の生徒に対し町長が身元引受人になり受け入れているところや、里親的存在でサポートするシステムがある。竹富町も近年県外への高校受験が増えているが県立高校入寮の身元引受人がその一因になっているのではないかと。県にもっと要請できないか。

**教育委員会総務課長**

県教育委員会に町内出身の保護者の実情を伝えた上で県・町も一緒に調査研究は必要と思う。この件に関して教育長へ伝えていきたい。

群星寮入寮希望者及び決定者			
年度	希望者	辞退者	決定者
R7	69人	21人	43人
R6	62人	15人	47人
R5	58人	16人	42人
R4	61人	15人	46人
R3	72人	22人	41人



# 一般質問

## 畜産共進会について

**問** 第28回八重山郡畜産共進会にて竹富町から、黒島の牛18頭が出品したが、その結果は。

**農林水産課長**

竹富町代表として、黒島から18頭の牛が出場し、4部門中3部門で、1席、優秀牛に輝き11頭が入賞した。黒島以外からの出品牛が出ないため他島からの出品者拡大の取り組みを強化したい。

**問** 沖縄県畜産共進会へ出品する出品者への支援としてレンタカーの支援は出来ないか。

**農林水産課長**

沖縄県畜産共進会へは、6頭の出品牛があり地元、黒島の多くのおみなさんが応援に駆けつけるところ。移動手段としてレンタカーの支援を考えているところ。

## 多機能型新造船について

**問** 西部に、多機能型新造船を週2回、固定化出来ないか伺う。

**政策推進課長**

農協丸の運航計画を見ると、週2、3日の余裕があり空いているところに、新造船つむぎを配置して西部地区の物流が停滞しないように考えて就航させたい。

## J-クレジットについて

**問** 資源循環型農業を推進するために、新たな財源としてJ-クレジットを活用するのはどうか。

**農林水産課長**

この制度は、温室効果ガスの排出削減・吸収量を国が認証し、取引可能とする制度で、農業分野では家畜排泄物管理等の事例もある。資源循環型農業の推進に向け、新たな財源としての活用を含め、調査研究を進めたい。

**問** 循環型農業については、施政方針においても示されているが現在の取り組み状況と本年度の進捗は。

**農林水産課長**

現在、黒島地区において、琉球大学との共同研究で牛糞堆肥の実証実験をしており、堆肥の品質改善が確認されている。今後は実験結果を踏まえ、循環型農業の理解を図るとともに現在各島々での牛糞堆肥作りセミナーの開催を検討中である。

## 不在者地主相談会について

**問** この事業の取り組みは、ここ近年は開催されていないと伺っているが。

**農林水産課長**

平成28年まで沖縄本島で実施し

ていたが、現在まで実施していない状況。原因としては不在者地主の整理が出来ていなかったため、現在地域計画の取り組みにより不在者地主の整理が進み不在者相談会実施にむけ取り組んでいる。

## 公民館へのクーラー、ソーラーシステムについて

**問** 公民館へのクーラー導入はどのような計画があるか。

**総務課長**

本町において、クーラーが設置されている公民館は7カ所、未設置の公民館は14カ所であることを把握している。近年の猛暑や、熱中症対策の観点から公民館への冷房整備は喫緊の課題だが一斉設置は難しい。段階的に整備していきたい。ソーラーシステムについては、西表島についてはPPA事業を計画している。この事業は事業者が企業や自治体の敷地内に太陽光パネルなどの発電設備を、無償で設置・管理をし、発電した電気を企業や自治体は電気料金を支払う事業。

## カムチャッカ半島沖地震に伴う津波について

**問** 7月30日カムチャッカ半島沖地震がおき、浦内地区自主防災としては、連絡を取り合い12時

30分までに避難場所に簡易式のテント、椅子、水、などを準備し、津波に備えた。津波注意報の制限はどうなっているのか。

**防災危機管理課長**

気象庁によると、津波注意報の場合は津波の高さが20cm〜1m以下となっており、その時にとる行動として海のなかにいる人は、直ちに海から上がり海岸から離れるとあり、必ずしも高台への避難ではないが、常に津波の情報を取りいつでも避難出来る体制をとる必要がある。

**問** 浦内公民館要請で第二避難道の修復の進捗は。

**防災危機管理課長**

今年度で避難道整備自主管理予算を活用して浦内公民館と一緒に連携を取りながら取り組む。

## 物価高騰の町民への支援

**問** どのような支援策があるか。

**政策推進課長**

これまで町の対策としては、水道料金免除や農家への共済制度支援などを実施してきた。今後は生活に密着する水道料金や、電気料金を市町村レベルで低減出来るか調査研究している。引き続き検討し、早い時期に実施したい。



おおはま かずまさ  
**大浜 一将 議員**  
◀詳しくは動画を Check!!

**町政を問う!!**  
**9月定例会**

## 一般質問

### 竹富町の財政の改善に向けて

**問** 財政の将来負担比率とは、また過去の比率は。

**財政課長**

将来負担比率とは将来負担すべき実質的な負債が標準財政規模に対してどの程度の割合であるかを示す指標。令和5年度11.3%、令和6年度50.2%。

**問** 今後はどのようになっていく見込みか。

**財政課長**

今後世界遺産センターや大富団地、複合型福祉施設の整備が見込まれており、負担が増加していく見込み。

**問** この地域の為なら、この島の為ならと寄付してくださる方はいると思う。ふるさと納税が応援したい公民館に直接いく仕組みは作れないか。

**政策推進課長**

公民館にアンケートをとったところほとんどの公民館から回答を得て、この仕組みに参加したいとか、制度の説明を希望する、との回答があった。新たな制度ができるように取り組んでいきたい。

**所感** 公民館の要望が遊具の設置なら、返礼品はバインや宿泊券だけでなく、子供達からのお礼のメッセージが選べてもいいと思う。地域からの感謝が嬉しい。

寄付者もいると思う。寄付者も一緒になって町づくりができる仕組みになると寄付額も上がると思う。

### 指定管理と委託管理

**問** 指定管理と委託管理の違いは。

**総務課長**

指定管理は管理運営全般を任せ、制度で、管理者が自由な発想を持って取り組んでもらう。委託管理は決められた業務の一部を外部に委ねるもの。

**問** 指定管理の施設から固定資産税は取っているか。修繕費はどちらが負担しているか。

**総務課長**

固定資産税は取っていない。大規模な修繕は町が行うが、軽微な修繕は指定管理者が行う。

**問** 管理者が望んでいる場合、施設の払い下げをすれば固定資産税も頂けて大規模修繕の必要もなく売却益も入るので、収益を考えれば払い下げも一つの手段だと思いが、払い下げの基準はあるか。

**総務課長**

補助金が終了しているかや、耐用年数など補助金適正化法にかからないのが一部の要件ではない。現在は払い下げを行う予定はない。

**問** 指定管理先が施設の運営費を負担するのが基本かと思うが、指定管理の中でも運営費や変動費を出している施設はあるか。

**総務課長**

運営補助はないが、指定管理先が担っている事業に対しての補助等はある。

**問** 指定管理と委託管理を行う施設の区別の基準はあるか。

**総務課長**

基準はなく、各課で判断している。

**問** 世界遺産センターの管理方法はどのようになるか。

**自然観光課長**

世界遺産センターに関しては指定管理者制度の利用を検討している。

**問** 大原と豊原の間にある交流センターは毎年1100万円程赤字を出しているが、広大な芝やプール、屋内の運動スペースや宿泊施設もあって、民間には修学旅行も含めとても利用価値の高い施設。ここを指定管理に切り替えることはできないか。

**教育委員会総務課長**

老朽化が進んでおり、修繕するかどうかも含めて指定管理ができるかどうか調査研究していく。

**所感** 交流センターを指定管理にし、企業にしっかりと稼いで頂くことで、町の毎年の赤字はなくなり、固定資産税も徴収できるようになるので進めて欲しい。

### お米の地産地消と備蓄倉庫

**問** ライスセンターの進捗は。

**農林水産課長**

農家からの要望を踏まえて見積りを取っている。

**問** ライスセンターの利用料の計算方法は。

**農林水産課長**

町負担分を耐用年数で割って利用料を決める。

**問** 同じ指定管理の施設でも利用料をとる施設と取らない施設がある。明確な基準はあるか。

**総務課長**

利用形態、営利目的かどうか等を判断し条例等の設置等してきたい。

**所感** ライスセンターの指定管理者からは利用料を徴収すると思うが、世界遺産センターの指定管理者からは利用料を取らない。世界遺産センターは観光客の為に施設であり、施設内では物販やカフェなどの営利活動も行われる見込み。指定管理者から利用料を取るが取られないかの基準がしっかり設けられることを要望する。

一 般 質 問

### ライスセンターの可能性について

**問** 西表島では年間240トンものお米が生産されている。しかしそのほとんどが農協に出荷されており島内消費することはほとんどできないのが現状。施設の整備を前向きに検討することだが、どのような規模で整備を考えているか。

**農林水産課長**

町と同じくらいの農家の規模の伊平屋村では、国の補助を活用して約12億円で整備した。竹富町もその事例を参考にしたいと考えている。町の負担は約2億。

**問** 運営する指定管理者は未定だが、負担軽減策はないか。

**農林水産課長**

年間の施設利用料という徴収ではなく、機器使用料として徴収する方法もある。農家のみなさんの負担にならない形で協議していく。

### 町民が安心して利用できる船舶体制について

**問** 老朽化した貨物船「かりゆし」の後継として導入される新フェリー「かりゆしが、なぜ鳩間・上原航路に入れないのか。

**政策推進課長**

短距離旅客船を改造したものであるため、鳩間・上原航路の運航許可が取れない。

**問** 新フェリー「かりゆしが上原に入れないという説明はいつどの時点であったのか。

**政策推進課長**

町が知ったのは購入後で、事前の相談や説明はなかった。事前に把握できていれば上原航路も見据えた運航計画が立てられた。

**問** 町営多機能型貨物船について運航計画は。

**政策推進課長**

月曜日フリー、火曜日大原、水曜日小浜島、木・金曜日は黒島、土曜日休み、日曜日は何かあれば運航する。

**問** 上原に入る計画はないのか。今後物流の停滞が生じることが懸念されるが。

**政策推進課長**

農協丸の運航計画を踏襲した形で検討していたが、新フェリー「かりゆしが上原に行けないことがわかったので改めて運航計画を見直す。

### 防災減災対策について

**問** 津波注意報について、島に滞在していた観光客や、石垣島にいた町民への対応にはどんな課題があったか。町としての総括や振り返りはしたのか。

**防災危機管理課長**

全課で検証、振り返りをした。課題は避難所開設の運営方法、島内での対応従事者、また民間宿泊施設の活用などの課題が出た。

**問** 町の対応が後手に回った印象。特に船会社が臨時便を出していたことを町が後で知ったという点からも、船会社との情報共有がなされていなかったのではないか。災害時における情報共有の仕組みや行動手順はどのようなになっているか。

**防災危機管理課長**

石垣港災害対策連絡協議会というものがある。海上保安庁、自衛隊、石垣港湾事務所、気象台、沖縄県、八重山警察署、石垣市、竹富町、その他船舶会社等の連絡体制が定められているが、今回は機能しなかった。

**問** 注意報が解除されない中で臨時便が運航され、島にいる観光客は乗船できた一方で、石垣島にいた町民は島に戻れなかった。なぜこのような対応になったのか、その経緯と理由は。

**政策推進課長**

港則法に基づき、海上保安庁と船会社との協議によるものと認識している。

**要望**

災害時に観光客が不安にならないよう、受け入れ側としての対応マニュアルをしっかりと整備していただきたい。また、石垣市や船会社との連絡・情報共有体制についても、災害時に混乱が生じないよう再構築を求める。

**問** 避難所（体育館）へのエアコン設置について、国の令和6年度補正予算において避難所となる全国の学校体育館への空調設備の臨時特例交付金が創設された。竹富町でもこの制度を活用し、エアコン設置を検討してはどうか。近年の猛暑や災害時の避難生活を考えると暑さ対策としての空調設備は重要だが。

**教育委員会総務課長**

条例改正に関する有識者会議に熱中症対策や、避難所としての活用を踏まえ、空調設備の整備を検討していく。災害時の停電対応（蓄電池・発電機・ガス）や維持管理費も考慮し、設置に向けて前向きに取り組む。

他にも、このような質問もしました。

- 補聴器の購入補助
- 訪問税について



う え も り ま さ ひ で  
**上 盛 政 秀 議員**  
◀詳しくは動画を Check!!

**スバウィ!**  
**町政を問う!!**  
**9月定例会**

## 一般質問

### 町有貨物輸送船の活用

**問** 白浜港からの運航が補助対象路線となる可能性はあるか。

**政策推進課長**

貨物船は不定期航路に分類され、定期航路とは異なる制度や会計が適用されるため、現状では補助対象外と考えている。

**要望** 補助対象となる可能性があれば積極的に活用し、白浜港の利便性や地域活性化につなげてほしい。

### 循環型ごみ処理の実証実験

**問** 循環型ごみ処理の実証実験で、生ごみ投入による電気代やコスト増の比較データはあるか。

**まちづくり課長**

実験の目的で回収したため、比較データは取っていない。

**問** 実験の検証にはデータが必要ではないか。今後の収集を提案する。

**まちづくり課長**

ご指摘を踏まえ検討したい。

**問** 生ごみに特化した処理機の導入可能性は。

**町長**

現行機で生ごみも処理可能。年内に判断を下す予定で、必要があれば新たな機器導入も検討する。

**要望** 多様な情報を集め、地域の生活改善につながる実験とし、早期導入を目指してほしい。

### 小浜民俗資料館の整備

**問** 小浜民俗資料館の進捗状況は。

**教育委員会社会文化課長**

資料のデータベース化を終え、賃貸借契約を締結。屋根改修は入札不調となり、10月中旬に再入札予定。

**問** 工事中の資料はどこに保管するのか。

**教育委員会社会文化課長**

小浜織物共同作業組合の施設内に移動・保管予定。

**問** 配置や展示の工夫、写真資料の充実は考えているか。

**教育委員会社会文化課長**

専門家の意見を参考に今後検討する。

**問** 駐車場や自転車置場の確保は。

**教育委員会社会文化課長**

現状予算措置はないが、利用者増を見据え検討する。

**問** 管理方法は。入場料徴収は可能か。

**教育委員会社会文化課長**

小浜公民館への指定管理を想定し、入場料徴収も前提に考えている。

**要望** 観光客にもわかりやすく、専門的視点を取り入れた展示を整備し、駐車場確保も含め利用環境を向上させてほしい。

### 小浜公園整備事業

**問** 小浜公園整備の進捗は。

**まちづくり課長**

8月に公民館や学校関係者と意見交換を実施。対象地は約4460㎡で、相続人9名のうち2名は所在不明で特定作業中。

**問** 公民館としての協力姿勢は。

**まちづくり課長**

土地取得に協力し、一緒に取り組むことで合意している。

**問** 住民から具体的な要望は出ているか。

**まちづくり課長**

案は示したが、土地確保が前提であり、詳細は今後検討する。

**要望** 地域と定期的に協議を重ね、早期整備につなげてほしい。

### 介護・福祉事業

**問** 高齢化が進む中、リハビリの回数を増やせないか。

**福祉支援課長**

専門職の派遣を月1回から2回に増やした。介護保険の上限もあり、今後は介護サービス以外の仕組みも含め検討したい。

**問** 小浜での介護人材養成事業の参加者数は。

**福祉支援課長**

本日開講式を行い、11名が参加。主に地元在住者。

**問** 集落支援員は配置されているか。業務は福祉に関わる内容か。

**福祉支援課長**

小浜に1名配置し、福祉業務も担っている。

**総務課長**

総務課が所管し、地域ニーズに応じて対応している。

**問** 他地域の配置状況と業務内容は。

**総務課長**

船浮、西表西部、竹富、小浜に各1名配置。高齢者送迎や荷物運搬など、地域の実情に合わせ対応している。

**要望** 将来を見据え、介護福祉サービスが途絶えないよう地域に即した支援体制を充実させてほしい。

## 政務活動報告

### 「町民の声を政策に活かすために」

議員の政務活動は、地域課題の把握から政策提言、他自治体との情報交換まで多岐にわたります。今号では、議員がどのような活動を行っているのか、その一端をご紹介します。詳細な報告書や活動記録は、町議会ホームページにてご覧いただけます。

- 宮良 道子** 島づくり人材育成大学参加
- 三盛 克美** 小規模多機能型居宅介護事業視察
- 山下 義雄** 宮城県南三陸町における防災体制と震災伝承などについての現地視察
- 上勢頭 巧** 「SDGsで考える石垣島の価値と未来～経済効果と自然の価値～」セミナー受講
- 崎枝 裕次** 「おきなわ農林水産物県外出荷促進事業」について国の沖縄政策担当とのヒアリング

▼各報告書はこちら



## 波照間中学校3年生が女性議会を傍聴しました！



本年度の竹富町女性議会には、波照間中学校3年生の皆さんが傍聴席にお越しくださいました。船の欠航により滞在が延びる中、急遽授業の一環として議場を見学いただき、議会の役割や予算の仕組みについて学んでいただく貴重な機会となりました。さらに、議場入口の案内掲示板には、生徒の皆さんが手書きで作成した温かみのある掲示物を作成いただき、議会の雰囲気づくりにも一役買ってくださいました。若い世代が議会に触れることで、まちづくりへの関心が育まれることを願っています。波照間中学校の皆さん、ありがとうございました！



## 意見書を提出しました

竹富町離島における停電の頻発に関する是正対策と国・県の支援を求める意見書

非常備町村消防団への支援を求める意見書

離島地域における携帯電波障害と通信による災害対応体制の強化に関する意見書

### 議長宛の文書は議会事務局へ

議長あての文書や案内状は、議長の公務日程を調整する必要がありますので、議会事務局へお届けをお願いします。

### 広報編集委員会

委員長 上勢頭 巧  
副委員長 大浜 一将

E-mail: gikai@town.taketomi.okinawa.jp

### 議会を傍聴しませんか？

傍聴受付に、複雑な手続きはありません。詳しくは「竹富町議会事務局」☎ 82-3748